

# 手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議（平成28年度第3回）

## 結果概要

日時：平成28年11月25日（金）午前10時40分～午後0時05分

場所：鳥取県庁 特別会議室（議会棟3階）

出席者：別紙のとおり

### ○報告事項

#### ◇ 第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催結果について（資料1）

第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園（以下「第3回大会」という。）の結果結果について、その概要を報告した。また、併せて審査結果及びアンケート（来場者・引率者・高校生）の結果についても報告した。



#### 【各委員の意見】

- ・聴覚障がい者向けの遠隔手話通訳サービスや音声文字変換システム用タブレット端末の反響は？ [国広委員]  
⇒ 残念ながら利用者はなし。
- ・アンケートの回収数が少ないように思うが？ [国広委員]  
⇒ 会場放送で案内をしたり、出口で協力の呼びかけ等を行ったが、残念ながら昨年の回収数を下回った。次回は、アンケート記載用の鉛筆を同封するなどの工夫を行いたい。
- ・アンケート結果（自由記載欄）に特定者の実名が登場している。これらの情報の取扱いやアンケート結果の取扱いは？ [山内委員]  
⇒ アンケートは今後の改善に向けた内部資料として活用することを意図し、広く一般に公表することまでは考えていない。また、実名で登場した方は、何らかの形で先方にお伝えしたい。
- ・大会に参加した高校生が大会に満足した様子を拝見でき、大変安心した。また、大会が、特に聞こえる生徒とろう学校の生徒の交流ができるよい機会となった。共生社会の実現に向けたよいあり方を示すことができ、運営側の1人としてとても嬉しく思う。 [大杉委員]
- ・審査方法で確認したいが、合計点数が同じだった場合、審査員の協議で決めるという規定通りのやり方で順位が決まったということ間違いはないか？ろう学校だから特別視されるようなことがあれば心配。次回大会では、順位付けの考え方について整理すべきではないか？ [大杉委員]  
⇒ 規定通り、審査員の協議により第2位と3位の順位が決まった。順位付けの考え方については、特に参加チームへの説明責任や納得性の観点から、庄崎審査員長に御協力をお願いし、審査員長のコメントとして公式HPやSNS上に掲載させていただいた。（出場校にも案内済。）
- ・クイズラリーの参加状況は？ [廣田委員]  
⇒ 参加が少ないという御意見もいただいたが、総合受付で251名の方に回答と抽選引換券を引き換えた。一般来場者が900席強だったことを鑑みると、まあ悪くない状況だったのではないかと考えられる
- ・当日は、フリーの立場で会場内を拝見させていただいたが、一番感動したことは、大会のOBやOGたちが出場生徒にエールを送っていたことだった。大会に出場する生徒にとって、先輩からのエールはきっと大いに勇気付けられたことだろう。今後、こうしたシーンは増えてくるのではないか？ [廣田委員]
- ・毎回、大会会場が変わり、1年経つと記憶が曖昧になってしまう。是非、過去の本大会や交流会のレイアウトを記録として残すとともに、参考資料として、次回大会の実施計画上に過去の大会の実績を掲載してほしい。 [廣田委員]  
⇒ 了解。
- ・大会の準備について、委託業者のM&Mさんや事務局ととてもうまく連携を図ることができた。昨年までは、手話通訳者や要約筆記者への配慮が良くなかったと聞いているが、今回はとても丁寧にM&Mさんに対応していただくことができ、それぞれ（手話通訳者や要約筆記者）が全力を尽くすことができたのではないかと思います。 [戸羽委員]



- ・熊本聾学校の10点減点の詳細を教えてください。[戸羽委員]
  - ⇒ 審査員協議にて、審査基準の減点項目「字幕が十分に表示されなかった」に該当することから、減点となった。
- ・サテライト会場の大スクリーンがとても見にくかった。このことは事前に想定できたはず [戸羽委員]
  - ⇒ 事前に会場に確認し、実績のあった1万2千ルーメンのプロジェクターを用意したが、このような事態も想定できていた。(次回以降、同様のことがないように十分な準備・想定を行いたい。)
- ・アンケートにも寄せられているが、厳しい予選を勝ち抜き、頑張っ て練習した結果、本大会で感動的なパフォーマンスを披露した生徒たちの労を報いるためにも、是非、全員に参加賞（記念品）を与えてほしい。[寺谷委員]
  - ⇒ 参加賞については検討したい。なお、今回は参加記念品として、出場生徒全員にフォトスタンド（大会の思い出となる仲間たちと撮った写真を、鳥取砂丘の砂で製作したフォトスタンドを使って飾ってほしい、思い出を形にしてに残してほしいという願いを込めて）をお贈りした。
- ・同じ会場だと、前回の反省点をつぶしやすいというメリットがある。3地区の会場を持ち回り開催するメリットと比較考量して、今後の会場選定の検討材料としてほしい。[寺谷委員]



## ○協議事項

### ☆ 第3回大会への御意見・御感想等（資料2）

会議に先立ち、第3回大会の“良かった点”“改善すべき点、工夫が必要だった点”等について、委員の皆様から寄せていただいた内容を委員全員で共有した。

#### 【各委員の意見】

- ・早く手話スタッフの募集規模や業務内容を情報提供してもらえれば、より多くの人数を集めることができるし、交代要員も準備できる。手話通訳者が何人必要で、それほど手話が理解できなくてもよいスタッフが何人必要なのかを早く提示してほしい。2～3ヶ月前には情報がほしい。[田中委員]
  - ⇒ 了解。できる限り早く情報をお伝えできるよう準備を進めていきたい。
- ・開会式の手話通訳者の服装がラフ（ポロシャツ）なのが個人的に気になった。過去の大会の開会式では、スーツを着用されていたと記憶している。大会の開会を飾る式典で、参加者は皆スーツを着用されている。手話通訳者もTPOに応じた服装を考えた方がよいのでは？ [国広委員]
  - ⇒ 了解。
- ・託児を断られたという事例があったようだ。利用条件が分かりにくいので、分かりやすく整理・周知するようお願いしていたはず。[森原委員]
  - ⇒ 託児を断ったという事実関係を調査したが、確認できなかった。託児の利用者は5名。制限は特に設けなかった。今回は、公式HPやSNSで託児の利用案内を事前に周知するとともに、大会当日のプログラムや総合受付での分かりやすい案内を実施させていただいた。
- ・岐阜ろう劇団いぶきの狂言はとても良かったが、情報保障がないことについて、意見が寄せられている。事前に把握できれば、情報保障の対応はできた。[大杉委員]
  - ⇒ 事前に演技内容の情報提供をお願いしていたが、ご提供いただくことができず、シナリオをいただいたのも大会当日と、こちらで演技内容を把握することができなかった。次回以降の反省点としたい。
- ・是非、委託業者のM&Mさんから、委託業者としてのお立場で意見を聞かせていただきたい。[大杉委員]
  - ⇒ 従来も、ろう者の目線に立った大会運営を目指していたが、今回は特に大きな目標としていた。お陰様で、委員の皆様や事務局、協会と年密な連携を図ることができ、一緒になって素晴らしい大会を作り上げることができたことが一番の収穫だった。反面、様々な改善すべき点があったことも自覚している。



- ・委員だけではなく、M&Mさんからも改善点等を事務局に寄せていただき、委員と共有を図りたい。是非、情報提供をお願いしたい。[大杉委員]
  - ⇒ 了解。
- ・一般来場者の入場口である2階は手荷物検査が実施されたが、ハートフル席利用者の入場口である1階は手荷物検査が実施されなかった。また、1階は予定を早めて大ホールの入口まで先に案内して、混乱が見られた。これらについて、詳細を教えてください。[国広委員]
  - ⇒ 2階のみ金属探知機を導入したが、1階も2階も手荷物検査は実施していた。また、1階はお成り報道の記者たちの入場の関係で、入場口の扉が開いており、誤って中に入る来場者が出てしまったことが要因。次回以降の改善点としたい。

## ○その他

### ◇ 今後の日程について（資料3）

次回大会に向けた大まかな予定を含め、今後の日程について、事務局から説明。

#### 【各委員の意見】

- ・第4回大会について、鳥取県聴覚障害者協会の希望をお伝えしたい。第1希望は来年10月8日(日)、第2希望は10月1日(日)。10月8日(日)を第1希望とする理由は、3連休で全国の高校生が参加しやすいことと、手話言語条例の制定日という記念すべき日であること。是非、このメモリアルデーに大会の開催が実現できればと思っている。[戸羽委員]
  - ⇒ いただいた御意見も踏まえ、日程については、今後、関係機関とも調整を図っていきたい。
- ・県内の高校生に大会の普及を図っていくため、参加の機運を高めていくことやボランティアとして大会に参画してもらうという視点から、是非、3地区での持ち回り開催を継続してほしい。[依藤委員]
- ・翌年の高校の年間行事は、基本的に例年通りという前提で、既に計画が立てられている。10月は、学校祭等の行事が組み込まれていることが多い。大会は、例年通りの日程で開催されることが望ましい。[三王寺委員]
  - ⇒ 了解。

### ◇ 手話パフォーマンス甲子園応援自動販売機の設置について（資料4）

手話パフォーマンス甲子園応援自動販売機について、境港市役所に第2号機を設置し、第3号機を鳥取県聴覚障害者協会（法人事務局）に設置予定であることについて、事務局から説明。自動販売機の利用や設置の推進について、委員に協力を依頼。

#### 【各委員の意見】

特になし。

### ◇ 予算の執行状況について（資料5）

予算の執行状況について、事務局から説明。

#### 【各委員の意見】

特になし。

### ◇ その他

第3回大会出場校から鳥取県中部地震への支援や、第3回大会の実績報告書（案）を紹介。また、大会のPRチラシの配付について、協力を依頼。



手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議 出席者名簿  
(平成28年度第3回)

役 職	所属 ・ 役職名	氏名 (敬称略)	出 欠 (代理：敬称略)
委員長	鳥取県福祉保健部長	藪田 千登世	出
委 員	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局次長兼福祉・労働委員会委員長	戸羽 伸一	出
	鳥取県手話通訳士協会	森原 早百合	出
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部	国広 生久代	出
	鳥取県手話サークル連絡協議会	田中 優子	出
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 専務理事	杉本 新二	欠
	鳥取県教育委員会事務局 教育次長	寺谷 英則	出
	鳥取県高等学校長協会 会長	依藤 典篤	出
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長	山内 晃	出
	鳥取県立鳥取聾学校 校長	三王寺 孝子	出
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	廣田 喜春	出
	国立大学法人筑波技術大学 教授	大杉 豊	出
事務局	障がい福祉課長	小林 真司	/
	障がい福祉課社会参加推進室 室長	明場 達朗	
	障がい福祉課社会参加推進室 課長補佐	岡村 弘美	
	障がい福祉課社会参加推進室 係長	安永 孝文	